

井手町地域創生推進室

令和2年度

地方創生関係交付金 事業評価調書

## 目次

### ＜地方創生推進交付金＞

1. 今だけ、ここだけ、貴方だけ観光推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2
2. インクルーシブソサイエティ（共生で賑わう社会）推進事業・・・・・・・・ P 5
3. 企業サテライトオフィスの誘致から広がる持続可能な地域づくり事業・・・ P 8
4. 京都やましろ地域×東京しぶや連携  
    ～和文化×多文化 関係人口創出プロジェクト～・・・ P 11

# 1. 今だけ、ここだけ、貴方だけ観光推進事業（地方創生推進交付金）

**交付対象事業名：今だけ、ここだけ、貴方だけ観光推進事業**

**事業額：1,527,522円 交付金充当額：763,761円（補助率1／2）**

## 事業内容

### 1. 山背古道観光推進事業【実績額：369,522円】（企画財政課）

山背古道とその沿線振興のため、予定していたウォーキングイベント（山背古道は一ふウォーク・とことんウォーク）は、実施の方法を模索しながら準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、止むを得ず中止となった。一方、山背古道ガイドブック及びウォーキングマップの改定を行い、情報発信媒体の充実を図った。

### 2. お茶の京都DMO分担金【実績額：1,158,000円】（産業環境課・地域創生推進室）

地方創生加速化交付金により設立した「お茶の京都DMO」に分担金を支払い、広域・統一ブランディングでの観光・集客サービスの提供や地域資源を活用した取組の推進、地域づくりを支える人材育成事業等を実施した。

（井手町関係の主な取組内容）

- ① 三十三所南山城巡礼ツアーの実施（令和2年11月実施・参加者数17名）  
テーマ性のあるツアーを企画され、地元ボランティアガイドと連携しながら、井手町の地蔵禅院を含む、南山城地域の観音霊場を巡るツアーを実施した。
- ② 井手町の食のメニュー開発支援の実施（令和2年度8月～12月の期間中5回開催・参加者総数46名）  
いでこいグルメ、恋の町でおいしい濃いに会うなどのコンセプトを提案し、地域資源の掘り起こしを支援。
- ③ Youtube動画お茶の京都心探訪シリーズの配信（令和2年7月から配信開始）  
新型コロナウイルス感染症により外出が困難となったことから、地域内のお寺・神社・観光施設等取材し、井手町では、高神社の山本宮司から、心を癒すメッセージをYoutubeお茶の京都チャンネルで神社の由緒とともに動画で発信いただいた。

# 1. 今だけ、ここだけ、貴方だけ観光推進事業（地方創生推進交付金）

## KPI（府全域）

本事業における重要業績評価指標（KPI）	事業開始前		本事業終了時の目標値		令和2年度の実績値	
	現状の値	年月	指標値	年月	指標値	年月
観光消費額 （億円／年）	8,138	H28.3	12,000	R3.3	444	R3.3
観光入込客数 （万人／年間）	8,374	H28.3	10,000	R3.3	2,139	R3.3
外国人宿泊者数 （万人／年間）	186	H28.3	426	R3.3	46	R3.3

## 【参考・井手町における実績値の推移】

本事業における重要業績評価指標（KPI）	平成28年	平成29年	平成30年	平成元年	令和2年
観光消費額 （億円／年）	1.12	1.11	1.15	1.08	0.90
観光入込客数 （万人／年間）	37.16	32.61	37.52	37.66	18.20

※外国人宿泊者数については町で集計していないため、不明。

# 1. 今だけ、ここだけ、貴方だけ観光推進事業（地方創生推進交付金）

## 事業の効果

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、実施予定の山背古道は～ふウォーク及びとことんウォーキングは、中止となった。一方、コロナ禍でありながら、山背古道の地図や資料の問い合わせは依然多く、昨年度は、山背古道ガイドブック及びウォーキングマップの改定を行い、情報発信の強化に努めたところです。
- 三十三所南山城巡礼ツアーでは、ボランティアガイドと連携し、ストーリー性のあるツアーを新たに企画し、訪問先に地蔵禅院を取り上げ、京都府内から11名、府外からは6名、延べ17名の参加があり、井手町の歴史・文化の周知が図られた。
- 井手町の食文化や地域資源の掘り起こしのため、お茶の京都DMOの事業で派遣いただいた専門人材を活用し、商工会青年部と井手町のコンセプト案を協議するほか、食に関する事業者に対するヒアリングや試食会等を実施。お茶の京都DMOの事業により、「いでこいグルメ・恋の町でおいしい濃いに会う」などのこい(恋、来い、濃い)をテーマに設定し、井手町の食メニュー開発を検討し、道の駅の特産品開発に向け、可能性を探った。
- Youtube動画お茶の京都「心探訪シリーズ」において、高神社の紹介動画の配信を行い、観光地の周知が図られた。

## 今後の展開

- 今後、整備される「道の駅」での販売やふるさと納税の返礼品づくりのため、食を中心とした特産品づくりを、本交付金を活用し、令和4年度から7年にかけて実施するとともに、今後もお茶の京都DMO負担金・山背古道推進協議会分とともに、支援していく。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、地域外から人を呼び込むことが困難になっており、今後は、ウォーキングイベントに加え、謎解きラリーや、お茶づくり体験の機会の提供、並びに地域の茶文化の魅力を伝える人材の育成等に取り組む「山背古道探検プロジェクト」などの取組みも行い、交流人口の拡大を目指していく。

# 井手町地域創生推進会議による効果検証の結果

KPI（目標）に有効であるか	票数
有効であった	4
どちらかといえば有効であった	7
どちらともいえない	2
どちらかといえば有効とはいえない	0
有効とはいえない	0

## 委員の主なコメント

- お茶の京都DMOの広域・統一ブランディングで観光・集客サービスや農・商地域商品のマーケティングの実施等を深化させる取組は良いと思う。コロナ禍のため、判断が難しいが、今後の展開のためには、本事業は必要不可欠であると考え。引き続き事業を進めていただきたい。（産業界、行政機関）
- コロナの影響で当町に限らず、観光事業を取り巻く環境は、厳しいものとなっており、ウォーキングイベントの中止など対面での事業が難しい中、ソフト事業の展開や他団体等の連携による事業の推進、動画配信の取組等、有益であったと思う。（学識経験者・金融機関）
- コロナ禍でどこも観光施策は苦戦している。そんな中、改めて見直されているのが、ウォーキングで、井手町でも一定定着していると感じる。山背古道というネーミングも良く、引き続き積極的な発信をお願いしたい。ガイドブックを近隣のシルバー人材センターのような元気で外出好きで、時間的に余裕がある方々の団体へ送るなどしてみてもどうか。（言論界）
- コロナ禍でありながら、動画配信など工夫されていたと思う。しかしながら、この事業について、サークル内で知っている者がいなかった。周知方法を検討すべきだと思う。山背古道ウォーキングで、乳幼児を連れて行けるコースがあれば紹介してほしい。地域の人との関わりも生まれるため、可能なら参加していきたい。（子育てサークル）
- 子どもの遊び場がもっと充実すれば是非活用したいと思うので、今後、道の駅に公園やフードコート、キャンプ場なども展開してもらえると嬉しい。（子育てサークル）

## 2. インクルーシブソサイエティ(共生で賑わう社会)推進事業(地方創生推進交付金)

**交付対象事業名：インクルーシブソサイエティ(共生で賑わう社会)推進事業**

**事業額：6,360,699円 交付金充当額：3,180,349円(補助率1/2)**

### 事業内容

#### **1. 特別支援学校設立に向けた障がい者等の社会参画支援事業【実績額：5,084,251円】**

- ①障がい者就労支援のための訓練施設通所事業【実績額：277,398円】(高齢福祉課)
- ②外出困難な障がい者福祉タクシー事業【実績額：643,000円】(高齢福祉課)
- ③高齢者や障がい者の生きがい通所事業【実績額：3,809,000円】(高齢福祉課)
- ④高齢者(障がい者等)のための図書館出張貸出事業【実績額：251,889円】(社会教育課)
- ⑤高齢者から幼児への絵本読み聞かせ事業【実績額：102,964円】(社会教育課)

#### **2. 地域で活躍する高齢者による地域コミュニティ再生に取り組む団体への補助金【実績額：1,276,448円】**

- ①町内の地域資源(史跡や旧跡、玉川)整備事業【実績額：70,000円】(社会教育課)
- ②青少年健全育成事業【実績額：200,160円】(社会教育課)
- ③美しいまちづくり推進事業【実績額：140,000円】(社会教育課)
- ④健全な体育・スポーツ活動の普及、振興による明るいまちづくり推進事業【実績額：866,288円】(社会教育課)
- ⑤高齢者(障がい者等)の食生活改善活動を実施している団体への補助【実績額：0円】(保健センター)

## 2. インクルーシブソサイエティ(共生で賑わう社会)推進事業(地方創生推進交付金)

### KPI (府全域)

本事業における 重要業績評価指標 (KPI)	事業開始前		本事業終了時 の目標値		令和2年度 の実績値	
	現状の値	年月	指標値	年月	指標値	年月
スポーツ、文化、芸術、レクリエーション活動への障がいのある人の述べ参画者数(年間) 【府全域】	11,636	H28.3	17,000	R3.3	2,221	R3.3
農福連携に係る地域交流イベントの参加者数	751	H28.3	1,750	R3.3	0	R3.3
農業実施事業所における平均工賃月額の向上	17,180	H28.3	19,800	R3.3	※未発表	R3.3

※「農業実施事業所における平均工賃月額の向上」については令和2年度実績が令和3年11月頃に判明する予定。なお、令和元年度時点では目標値19,200円に対して実績値19,328円で、目標を達成できていた。



## 2. インクルーシブソサイエティ(共生で賑わう社会)推進事業(地方創生推進交付金)

### 事業の効果

- 障がい者や高齢者の就労や外出を支援する訓練施設通所事業や福祉タクシー事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度より利用件数・利用者割合が減少傾向となったが、対象者に対して、利用促進を図るため、勧奨通知を送付し、高齢者や障がいのある方の就労や外出機会の増加に努め、昨年度と同程度の申請者を確保し、社会参画の機会を提供した。また、高齢者や障がい者の地域での交流や外出機会の創出を図る「高齢者や障がい者の生きがい通所事業」についても、新型コロナウイルス感染症の影響により、断続的な実施となったが、感染対策に配慮し、積極的に事業を展開した。
- 図書館出張貸出事業では、高齢者の方だけでなく、子連れで長距離の移動が難しい子育て世帯の方からも「様々な本を読む機会の確保につながっている」と評価を得ているほか、絵本の贈呈事業についても、対象者数に対する利用者数の割合が増加傾向にあり、幼児が本に親しむ機会の増加に寄与した。
- 人が多く集まるイベントや各種スポーツ事業は中止となったものの、コロナ禍でありながら、高齢者等を含む多様な地域団体の活動支援を昨年同様実施しており、スポーツ協会加盟団体への活動費の助成や青少年の主張作文集の作成など、感染対策に最大限配慮した事業の継続に努めた。

### 今後の展開

- 令和2年度は、高齢者や一人世帯の交流の場として機能する図書館出張貸出事業であったが、令和3年度からは、京都府が推進する子育てにやさしいまちづくりモデル事業に採択され、地域の団体や事業者、大学など幅広い担い手と連携し、子育てを町全体で支える事業を実施しており、令和4年度からは、子育て関連事業として地方創生推進交付金を活用し、おもちゃ図書館との連携も含め、更なる充実を図る。
- 高齢者や障がいのある方の新型コロナウイルス感染症に罹患した際の重症化リスクが高いことを踏まえ、感染防止対策を徹底、実施方法を十分に検討し、少しでも多くの方が参加できるよ、実施を検討していく。
- 今後、令和4年4月に京都府立井手やまぶき支援学校が開校する予定となっており、インクルーシブソサイエティの実現に向けた取組がこれまで以上に求められてくる。井手やまぶき支援学校は『地域と共に歩む学校』をコンセプトにされており、性別・世代問わず、すべての人が安心して、地域で活躍できる共生社会の実現に向け、更なる取組を進める。

## 井手町地域創生推進会議による効果検証の結果

KPI（目標）に有効であるか	票数
有効であった	7
どちらかといえば有効であった	5
どちらともいえない	0
どちらかといえば有効とはいえない	1
有効とはいえない	0

### 委員の主なコメント

- 京都府立特別支援学校の開校で、インクルーシブソサエティの実現に向けた取組が、井手町として大きな役割を担っており、KPIには表せない数値が多くあると思う。令和4年4月以降、多くの関係者が来町されると思うので、事業を続けて頂きたい。（産業界、行政機関）
- コロナの影響により、実績値は厳しいが、引き続き需要に対して感染対策などを行いながら、事業の継続を図ることができている。（学識経験者）
- 高齢者から幼児への絵本の読み聞かせもすばらしいです。本を通じて高齢者と子どもやその家族がつながるというのは、地域の活性化という視点からも効果があると思う。井手町の人口規模だから可能といえる濃密な本でのつながりを期待している。子どもができたなら隣のおばあちゃんに本を読んでもらえるという町って素敵だと思う。（言論界）
- SDGsの観点からも、子育て世代、高齢者・障がい者に優しい町づくりは重要であり、全ての人に対し住みやすい住環境を目指し、単発事業で終わる事なく、継続して取組して頂きたいと考える。（金融機関）
- 高齢者や障がいのある方の外出支援は今後も強く進めてほしい。運転免許を返納された方から、スーパーの買い出しや病院の送迎を頼まれるため、町のサービスを知ってほしいと思う。（子育てサークル）

### 3. 企業サテライトオフィスの誘致から広がる持続可能な地域づくり事業 (地方創生推進交付金)

交付対象事業名：企業サテライトオフィスの誘致から広がる持続可能な地域づくり事業

事業額：1,938,706円 交付金充当額：969,353円 (補助率1/2)

#### 事業内容

#### 1. 空き家を活用した京都産業大学井手応援隊活動拠点事業【実績額：453,706円】(地域創生推進室)

##### ① 京都産業大学井手応援隊活動拠点「むすび家ide」運営事業【実績額：453,706円】

年間を通じた施設の休館に伴い、予定していた町内小学校の児童を対象とした寺子屋や町屋カフェも未実施となった。一方、空き家の賃借は継続し、定期的に敷地内の草刈りを行う等、維持管理に努めた。

##### ② 学生による地域課題解決支援事業【実績額：0円】

「井手！みねーしょん」や「はらぺこランド」といったイベントは中止となり、町内の関係団体等から課題を聴き、学生達の視点で課題解決の方策を提案し実施するキャップストーンプログラムは、規模を縮小し、オンラインを活用し取り組んだ。なお、学生からの課題解決の提案にとどめ、現場での実施は行わなかった。

#### 2. 地域課題解決に取り組むまちづくり団体の活動拠点運営及び団体活動支援事業【実績額：1,485,000円】

(地域創生推進室)

井手町まちづくり協議会に対する「井手町まちづくりセンター椿坂」の運営費用の支援を通じ、地域おこし協力隊とともに、まちの魅力発信及び交流人口の拡大に努めた。



オンラインでの学生との協議の様子



まちづくり協議会が椿坂で試作した工芸品等



椿坂周辺(玉川堤防)への山吹の補植

### 3. 企業サテライトオフィスの誘致から広がる持続可能な地域づくり事業 (地方創生推進交付金)

KPI (府全域)

本事業における重要業績評価指標 (KPI)	事業開始前		本事業終了時の目標値		令和2年度の目標値		令和2年度の実績値	
	現状の値	年月	指標値	年月	指標値	年月	指標値	年月
本事業の取組によるサテライトオフィスの誘致件数 (件/年間)	0	H29.3	29	R4.3	18	R3.3	9	R3.3
本事業の取組により田舎の地域で就職した者数 (人/年間)	93	H29.3	148	R4.3	137	R3.3	69	R3.3
本事業の取組により大学等と連携した地域課題解決のためのフィールドワークに参加した学生数 (人/年間)	5,181	H29.3	6,580	R4.3	6,310	R3.3	5,168	R3.3

(参考値) 井手町における各KPIの状況 (R2年度)

- ・ 本事業の取組によるサテライトオフィスの誘致件数 (件/年間) … 0
- ・ 本事業の取組により田舎の地域で就職した者数 (人/年間) … 1 (H28~R2: 累計2人)
- ・ 本事業の取組により大学等と連携した地域課題解決のためのフィールドワークに参加した学生数 (人/年間) … 0

### 3. 企業サテライトオフィスの誘致から広がる持続可能な地域づくり事業（地方創生推進交付金）

#### 事業の効果

- 「むすび家ide」は、新型コロナウイルスにより、京都産業大学井手応援隊の町への訪問が困難となったことから、年間を通じて休館。当初予定の地域交流や賑わいづくりを目的とした寺子屋や町家カフェも未実施となった。一方、施設の賃借、維持管理は継続。コロナの収束後を見込み、京都産業大学井手応援隊の活動再開に備える。
- 「井手！みねーしょん」等の秋のイベントについても、新型コロナ拡大の影響を受け中止。一方、町内の具体的課題についての検討やその解決方法の提案を学生が行う「キャップストーンプログラム」は、規模を縮小しオンラインで実施。「教育」「共生社会」「働き方」「芸術」「健康・スポーツ」の5つのテーマで学生ならではの視点から町関係課や関係団体等に提案がなされ、参加した関係課等と有意義な意見交換が行われたとともに、オンラインの活用による新たな連携の形を示すことができた。具体的には、井手町版すごろく案の作製及びそれを用いた郷土教育や、インスタグラムを活用した町の自然や企業等の魅力発信等の提案がなされた。学生の提案を受け、インスタグラム等のSNSを活用した魅力発信については、地域おこし協力隊の事業として今年度事業化、実施の予定。
- 井手町まちづくりセンター椿坂も、新型コロナの影響により、年間を通じて休館。一方、椿坂周辺農地で栽培した作物を使った特産品づくりやサンドブラストを活かした工芸品の制作、玉川堤や椿坂周辺への山吹の補植に重点を置いて取り組み、コロナ収束後に再び多くの方に井手町を訪れてみたいと思ってもらうための新たな魅力づくり（コスモス畑）や地域資源の磨き上げに取り組む。

#### 今後の展開

- 新型コロナの影響で、京都産業大学では、一部対面授業が再開されているものの、学外活動は、現地入りに厳格な手続きと前後の徹底した健康管理、教員の同行、現地活動の制約など多くの制約があり、町内の学生の活動拠点の「むすび家ide」も休館中。むすび家ideは京都産業大学の活動拠点であるので、再開は大学の意向を前提に検討。また、コロナ禍を機に、連携継続の視点から、大学内の複数のゼミとの連携も模索。
- 「井手！みねーしょん」等の秋のイベント及びキャップストーンプログラムは、学生が町を来訪することが困難なため、オンライン等の活用により、井手町の魅力発信や活性化に寄与する実施方法を検討中。
- 現在もまちづくりセンター椿坂は、新型コロナの影響で施設を休館中。指定管理者の井手町まちづくり協議会と開館時期等について協議中。また、コロナ収束後を見据え、食品や工芸品等の特産品の開発や椿坂周辺での山吹等の補植など、コロナ禍でも実施可能な新たな魅力づくりを実施予定。

## 井手町地域創生推進会議による効果検証の結果

KPI（目標）に有効であるか	票数
有効であった	5
どちらかといえば有効であった	4
どちらともいえない	4
どちらかといえば有効とはいえない	0
有効とはいえない	0

### 委員の主なコメント

- むすび家ideの再開に向けて、維持管理を続けていく事は大変かと思うが、継続して行って頂き、コロナ収束後にスムーズに井手応援隊の活動が出来るようお願いしたい。京産大生の力は必ずこの町に必要なと思うので、事業継続して頂きたい。（産業界）
- ウィズコロナの新しいライフスタイルを考える時にサテライトオフィスなどの誘致はチャンスがあるとも考えられる。こうした観点からの取組を期待したい。（学識経験者）
- コロナ禍で京産大生が来られない状態が続き残念である。オンラインなどでやりとりを継続頂き、コロナで関係が薄くなるのではなく、新しい協力の形を考えて頂きたい。（言論界）
- 京都産業大学との連携は、町を活気づける取組として非常に良いものと感じている。若い方が行き交う事で、町に賑わいが生まれ、また、学生さんからの柔軟で新しい発想による提言により、今まで気づけていなかった「町の良さ」を改めて再確認できる機会となるとも考える。コロナ収束後を見据え、今後も連携を深めて頂ければと思う。（金融機関）
- むすび家ideの京産大生によるラジオ体操やカフェ活動は地域活性化に繋がっていたと思う。コロナまん延で仕方ないが、是非復活してほしい。また、井手みね一しょんは子ども達も一緒に作品作りに参加でき、大人も子どもも楽しめる良いイベントであると思う。（子育てサークル）

## 4. 京都やましろ地域×東京しぶや連携 ～和文化×多文化関係人口創出プロジェクト～ (地方創生推進交付金)

交付対象事業名：京都やましろ地域×東京しぶや連携～和文化×多文化関係人口創出プロジェクト～

事業額：234,000円      交付金充当額：117,000円（補助率1/2）

### 事業内容

井手町を含む京都府山城地域（5市6町1村）と東京都渋谷区が連携し、両地域における人や企業の交流を促進させるプロジェクトを実施し、地方と都市がともに発展・成長するような新しい関係づくり及び「関係人口」の創出拡大を目指すもの。

計画期間：令和2年4月1日から令和5年3月31日まで（3か年度）

#### お茶の京都・東京しぶや戦略的交流事業

戦略的・効果的な事業展開を目指すため、民間委員及び京都府山城地域と東京渋谷区の各自治体職員等からなる交流戦略委員会を設置、コロナ禍においても実施可能な新たな連携事業の提案、事業効果の検証や改善方法を検討するため、交流戦略委員会を年3回実施した。また、取組全体を発信するためのポータルサイトを開設、両地域の位置や概要、特産品や歴史等に関する情報を発信するほか、本プロジェクトの「東京の資源を活用した京都の茶文化進化学業」や「京都の資源を活用した渋谷カルチャー進化学業」の周知を図ったところ。

#### ・東京の資源を活用した京都の茶文化進化学業

山城地域の茶師によるお茶の入れ方・楽しみ方の動画を撮影し、Youtubeで配信。  
渋谷区の公式SNS等で情報発信を行い、山城地域のお茶文化等の周知を図った。

#### ・京都の資源を活用した渋谷カルチャー進化学業

渋谷区在住、在勤、在学で、上記お茶会の動画を視聴し、簡単なアンケートに回答いただいた方の中から抽選で100名の方に「京都やましろの産品」（お茶）をプレゼントするキャンペーンを実施。

## 4. 京都やましろ地域×東京しぶや連携

### ～和文化×多文化関係人口創出プロジェクト事業(地方創生推進交付金)

#### KPI (山城全域)

本事業における重要業績評価指標 (KPI)	事業開始前		本事業終了時の目標値		令和2年度の目標値		令和2年度の実績値	
	現状の値	年月	指標値	年月	指標値	年月	指標値	年月
観光消費額 (億円) ※1	2,459	R2.3	2,915	R3.3	2,680	R5.3	1,022	R3.3
両地域において企業等が連携して開発したプログラム、商品の件数 (件) ※2	0	R2.3	3	R3.3	1	R5.3	0	R3.3
両地域の連携事業へ参画した個人のうち継続して参加意欲がある人数 (人) ※3	0	R2.3	150	R3.3	50	R5.3	131	R3.3
イベント参加者へのアンケートによりやましろ地域と渋谷区の連携が大切とする住民の割合 (%) ※4	23.0	R2.3	38.0	R3.3	28.0	R5.3	76.76	R3.3

※1 山城地域の額、渋谷区の額の合計額を設定(山城地域の額は、京都府観光入込客調査報告書により算出。渋谷区は、公的な統計で算出されていないため、東京都全体の観光消費額を母数とし、東京都全体の滞在者数のうち、渋谷区の滞在者数が占める割合を掛けて推計したもの。)

※2 コロナ禍の影響により着手時期が大幅に遅れたため、令和2年度の実績値は「0」となった。

※3 「デジタルお茶会」SNSキャンペーン(令和3年1月18日～2月7日)におけるアンケートの結果を使用。

※4 「渋谷区住民、就業者アンケート」を実施し、「両地域における連携が大事」と回答した渋谷区住民の割合。



## 4. 京都やましろ地域×東京しぶや連携

～和文化×多文化関係人口創出プロジェクト～（地方創生推進交付金）

### 事業の効果

- 交流人口の拡大を目指す本事業は、新型コロナウイルスの影響により大幅な見直しを行ったが、イベントのデジタル化やオンラインによる会議の実施など、新しい交流の形やコミュニケーション・情報公開の方法について両地域で検討、動画配信やポータルサイトを活用した情報発信の手法について認識の共有が進んだ。
- オンラインでのWEBアンケートやキャンペーン、動画配信、ホームページ上でのプロジェクトの紹介などの情報公開するなど、多様な手段により、渋谷区及び山城地域での様々な情報発信を実施。特に、今まで周知が行き届かなかった「渋谷のラジオ」や「シブヤ経済新聞」といった関東方面のラジオやニュースにも、井手町を含む山城地域の特産品や文化が紹介され、情報発信が進んだ。

### 今後の展開

- 計画期間3年間の事業の在り方を検討し、コロナ収束を見据え、当初、計画していた「リアルな交流」の展開とともに、令和2年度に培ったデジタル化手法などを有効活用し、一過性ではなく、「深い交流」が生まれ、地方と都市がともに発展・成長する新しい関係づくりを進める。
- 今後、渋谷区の施設を活用し、山城地域の特産品を活かしたメニュー開発・提供を検討するほか、住民間・事業間の交流を促進させる交流プログラムの実施など、両地域において関係人口の創出・拡大を目指し、継続的に事業を推進する。



京都やましろ地域×東京しぶや連携  
パンフレット



山城地域の茶文化をYoutube動画で配信



「京都やましろの産品」(お茶)を渋谷区民にプレゼントするキャンペーンを実施

## 井手町地域創生推進会議による効果検証の結果

KPI（目標）に有効であるか	票数
有効であった	2
どちらかといえば有効であった	7
どちらともいえない	2
どちらかといえば有効とはいえない	1
有効とはいえない	1

### 委員の主なコメント

- 町民の立場で、本事業について、あまり知る機会がなかった。内容は非常に良いと思うので、情報発信を強化していただきたい。（産業界）
- 東京との連携は井手町だけの意向ではないだろうが、地方の発展・地方の賑わいを目指しながら、「東京の資源を活用」という意味が良く理解できない。単にお茶をプレゼントしても次につながるものがあるのか。（言論界）
- 全国的な観光都市となると大阪市や奈良市との中間に位置する「やましろ地域」は立地面での優位性もあり、まだまだ伸びしろがある地域であると感じている。コロナ禍の中で見直すべき点は見直しつつ、新しい手法を取り入れながら、地域一体となった情報発信を継続して頂きたい。（金融機関）
- おもしろい取組だと思うが、この事業のことを知らなかったのか、周知不足ではないか。お茶となると宇治田原町や和束町が目立ってしまうが、是非井手町も頑張ってもらいたい。（子育てサークル）
- なぜ京都市等近い都市ではなく、東京なのかと思う。魅力を発信して分かってもらえても、距離があるので行きづらいと感じる人もいると思うので、対象者として適切なのかと思う。（子育てサークル）